

視聴覚障害者との体験（ガラムマサラ）



Rosemary



Parsley

IHT いばらき園芸療法研究会9期修了生
福島県 村崎 能文



Peppermint

福島県いわき市でIHTいばらき園芸療法研究会8期修了生佐藤光雄さんとヨシキョファームという任意団体を組織し、視聴覚障害者を支援する活動を行っています。

音の出るボールを使ったキャッチボール（ブラインドキャッチボール）、太鼓などの楽器を演奏するなどの活動や園芸療法に関する活動として、畑作業、収穫体験、収穫した野菜などの試食などを行っています。



Sweet basil

視聴覚障害者の方はどうしても家にこもりがちで外へ出て活動する機会が少なくなってしまいます。そこで、外で活動してもらう機会、場所を提供することを目的として令和4年の3月頃から活動を始めました。

参加している視聴覚障害者の方から、外に出て様々な活動を通じて人と話す、笑いあうことでこもりがちがちな気持ちが晴れやかになる、いい機会を設けてもらった、と感謝の言葉を頂きます。また、前向きに生活されている方が多くいらっしゃるの、支援しているつもりが、かえって健常者の方が元気をもらっていることもしばしばです。

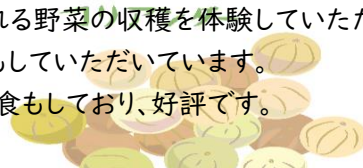
もともと、活動の機会として農作業が良いのではないかと漠然と考えて野菜作りを始めました。活動の中で園芸療法というものがあることを知り、より活動を充実させることができるのではないかと考え、IHTいばらき園芸療法研究会で園芸療法について学びました。

現在集まっていたいる視聴覚障害者の方は、身体的機能に制限がある方は少ないので、しゃがんでの作業が可能なのでジャガイモ、ニンニクなど土に直接触れる野菜の収穫を体験していただいています。また、オクラやゴーヤ等形に特徴があり、かつ、採りやすい野菜の収穫の体験もしていただいています。

これらの野菜は、収穫後その場で調理して試食しており、好評です。



ピンクペッパー



さて、北関東・東北ブロックでは2月に、全国版として8月にガラムマサラの講習会を開催しました。そこで、今回（9月17日）に、視聴覚障害者の方にガラムマサラを調査してもらい、その後カレーを試食してみました。

当日は、佐藤光雄さんの仕事仲間のパキスタン人のモハメドさんがスパイスを持参してカレーを調理して頂きました。

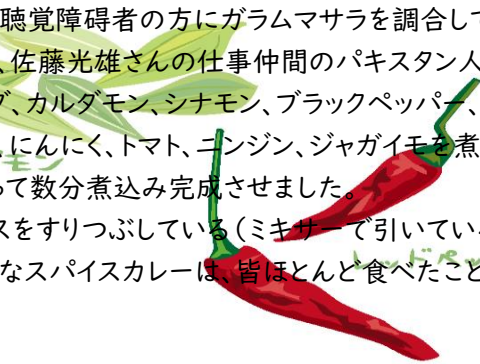
ナツメグ、カルダモン、シナモン、ブラックペッパー、コリアンダー他全部で9種類のスパイスを使用しました。

玉ねぎ、にんにく、トマト、ニンジン、ジャガイモを煮込み、日本人の口に合うように塩を多めに加え、最後に香りづけにスパイスを振って数分煮込み完成させました。

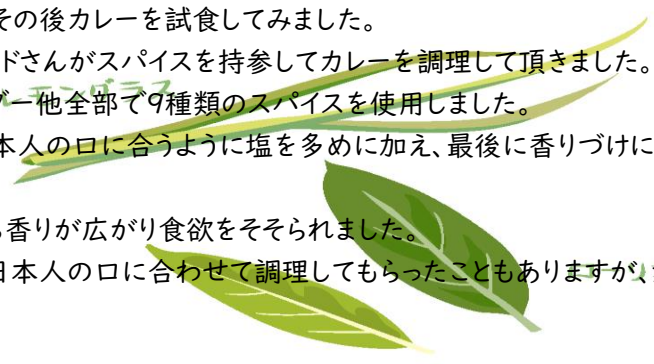
スパイスをすりつぶしている（ミキサーで引いている）時から香りが広がり食欲をそそられました。

本格的なスパイスカレーは、皆ほとんど食べたことがなく、日本人の口に合わせて調理してもらったこともありましたが、好評でした。

これからも、視聴覚障害者が外で活動する機会を提供し、園芸療法を実施するという見方ではなく、通常の農作業をする中でどのようなことが園芸療法につながるのかということを考えていきたいと思います。



レッドチリ



Fennel